

ウオノメとタコはどう違いますか？

芯があって痛みがあるのがウオノメです

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>



ウオノメ

タコ

中央に芯があって魚の目のように見えるのがウオノメ

ウオノメやタコの中には、イボと形状が似ているものがあります。間違えやすいのですが、イボはウイルスによる感染症なので治療方法が異なります。特に子どもの足裏にできるタコやウオノメのように見えるものはイボであることがほとんどです。子どもの足裏を見て気になったら、皮膚科の医師に相談しましょう。

ウオノメとタコについて、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。ウオノメとタコの違いは？

「ウオノメやタコはどちらも外からの慢性的な刺激によって角質層が厚くなる病気です。中心の角質層が厚く芯のようになり、圧迫すると痛みを感じるのがウオノメです」

「どんな場所にありますか？」

「ウオノメは足裏にできやすく、骨の突起した部分や体重のかかりやすいところに発症します。ハイヒールなど幅の狭い靴を履くと、足が圧迫されてウオノメができやすくなります。一方、タコは指の関節にできるペンダコなど、生活習慣や職業、その人の癖などにより、足裏以外にもできま

「治療法は？」

「皮膚の角質を柔らかくするサルチル酸を塗ったり、増殖した部分を削り取ったりします。月2回まで削る治療に保険が適用されます。治療しても靴があたる部分などは再発しやすいので注意しましょう。ウオノメは自然に治ることはあまりないので、痛みを感じたら早めに治療を受けましょう。」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ

中野皮膚科クリニック

中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分

TEL03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2020年6月26日付 「リビング東京副都心」に掲載されました